

日本風景街道 千葉県内第1号

みなみぼうそう

はなうみかいどう

『南房総・花海街道』が登録されました。

～ いよいよ千葉県内で「日本風景街道」が始まります ～

記者発表資料

■日本風景街道の始動

今年度から国土交通省において、多様な主体による協働のもと、地域資源を生かしたまちづくり、みちづくりを行う取り組み「日本風景街道」が始まりました。

■申請及び登録

10月12日に開催された「風景街道関東地方協議会」において、関東ブロックに関わる風景街道15ルートが登録されました。（別紙3参照）

うち、千葉県内においては、南房総地域の3市1町（館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町）を活動範囲とした『南房総・花海街道』（申請者：南房総・花海街道パートナーシップ 代表：館山市長）を申請し登録されました。（別紙1、2参照）

■登録証の交付（認証式）

10月30日に開催される「日本風景街道 関東 クランクインフォーラム（別紙4参照）」において、風景街道関東地方協議会 会長より、風景街道パートナーシップ代表者に登録証が交付されます。

なお、当日は「南房総・花海街道パートナーシップ」代表 館山市長が出席します。

※当日は、取材が可能となっております。なお、座席数に限りがございますので、あらかじめご了解下さい。

■日本風景街道の概要

日本風景街道は、地域の魅力・美しさを発見、創出し、道路管理者及び地域のNPOや地域住民、企業、地方公共団体等多様な主体による協働のもと、道を舞台に景観・自然・歴史・文化等の地域資源を活かし美しい国土形成を図る運動を促し、地域活性化や観光振興に寄与することを目的とした取り組みです。

日本風景街道に関わる情報は、以下の「風景街道 関東エリア」のホームページを参照下さい。

URL : <http://www.ktr.mlit.go.jp/kanto-fukei/>

平成19年10月26日

国土交通省千葉国道事務所・千葉県・館山市・鴨川市・南房総市・鋸南町

記者発表クラブ

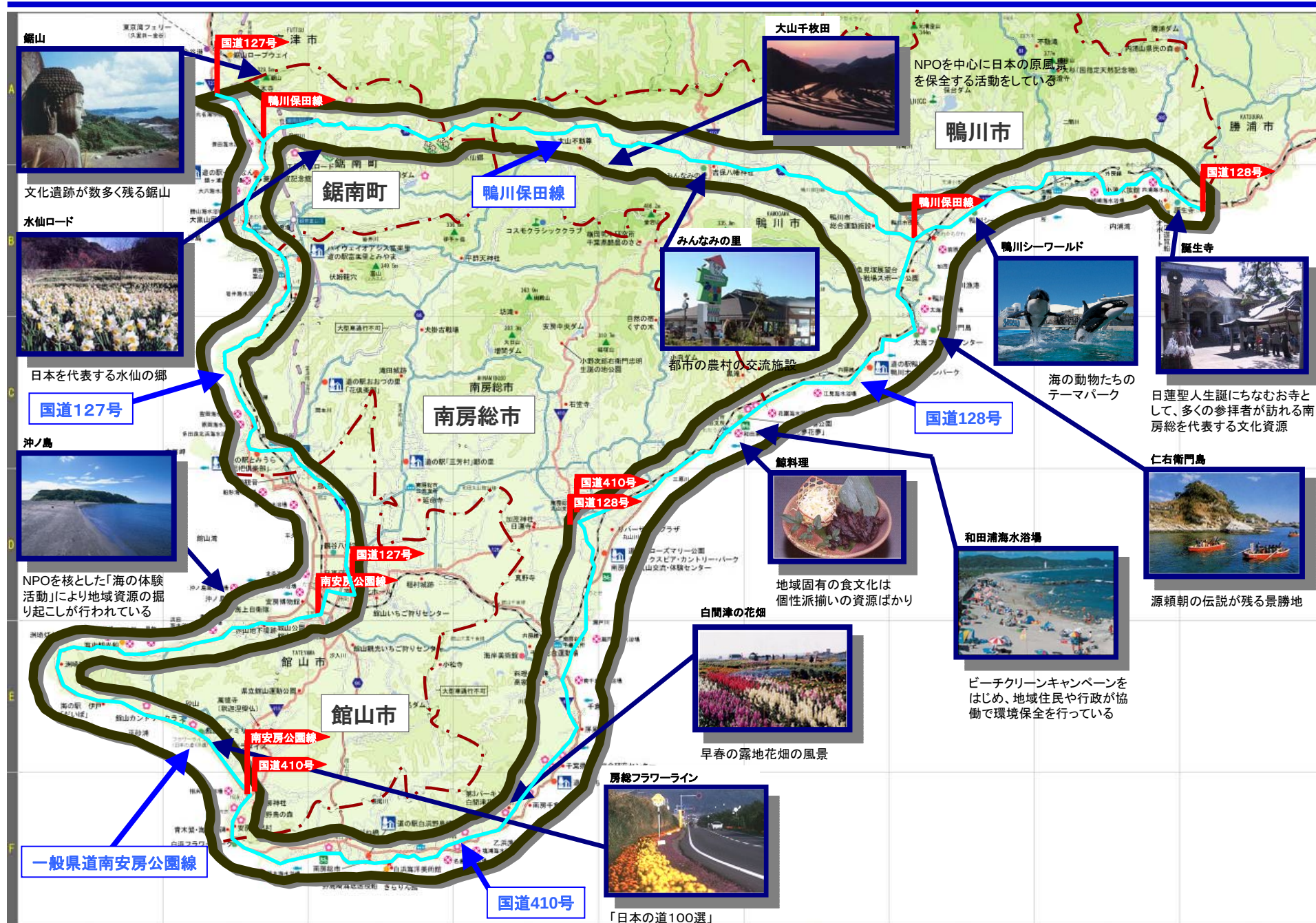
竹芝記者クラブ、横浜海事記者クラブ、神奈川県建設記者クラブ
千葉県政記者会、館山記者クラブ、鴨川記者クラブ

問い合わせ先

国土交通省 関東地方整備局 千葉国道事務所 計画課長
千葉県 県土整備部 道路計画課 企画調整室長
館山市 経済観光部 商工観光課長
鴨川市 建設経済部 商工観光課長
南房総市 商工観光部 観光プロモーション課長
鋸南町 地域振興課長

武藤 聡	TEL:043-287-0314
片海 好夫	TEL:043-223-3272
谷野 秀紀	TEL:0470-22-3346
藤後 良治	TEL:04-7093-7837
篠原 茂幸	TEL:0470-33-1091
篠原 一成	TEL:0470-55-1560

別紙1



■中心となる道路の名称及び道路管理者

- ◆ 名称 国道 127 号、国道 410 号、国道 128 号、一般県道南安房公園線、主要地方道鴨川保田線
- ◆ 道路管理者 国土交通省、千葉県

■風景街道の範囲と風景街道内の地域資源

◆風景街道の範囲

国道 127 号、国道 410 号、国道 128 号、一般県道南安房公園線、主要地方道鴨川保田線を中心とした千葉県安房郡鋸南町、館山市、南房総市、鴨川市のエリア

◆景観資源

- ・ 鋸山（石切場として利用されてきた面影が所々に残る標高 329.5m の北の玄関口）
- ・ 大山千枚田（「日本の棚田百選」、日本の原風景ともいえる里山の景観）
- ・ 房総フラワーライン（「日本の道 100 選」に選ばれている花の道）

など、11 件

◆自然資源

- ・ 水仙ロード（可憐な白い花が続き、1 月から 2 月にかけて多数のハイカーが訪れる）
- ・ 花嫁街道（その昔、山から海へと嫁ぐ花嫁が歩いたといわれる街道）
- ・ 和田浦海水浴場海岸（環境省の「快水浴百選」に選定されている）

など、10 件

◆歴史資源

- ・ 安房神社（安房を開いた天富命が祖神天太玉命を祀って創設された神社）
- ・ 誕生寺（日蓮宗の開祖、日蓮聖人生誕を記念して創建。世界一の鬼瓦や珍しいタイのお墓など）
- ・ 高家神社（日本で唯一の「料理の神様」をまつる「たかべじんじゃ」。全国から料理人が参拝に訪れる）

など、13 件

◆文化資源

- ・ やわたんまち（安房国の総社、鶴谷八幡宮を舞台に繰り広げられる、安房地方最大の祭礼）
- ・ 花火大会（夏の夜空を彩る花火大会。海上で打ち上げられる水中花火の迫力は圧巻）
- ・ 南房総フラワーマーチ（潮風に誘われて、ハイカーに人気の歩け歩け大会。例年 5,000 人以上が参加）

など、21 件

◆体験・交流資源

- ・ 里海体験（貝殻や流木に出逢えるビーチコーミング）
- ・ 里山体験（びわ狩り、みかん狩り、イチゴ狩りなどの収穫体験）
- ・ みんなみの里（嶺岡山の麓、緑豊かな長狭の山あいにある都市と農村の交流施設）

など 6 件

◆施設・情報資源

- ・ 道の駅（南房総地域に 10 箇所の道の駅が存在）
- ・ 菱川師宜記念館（「見返り美人」の作品で有名な江戸時代の浮世絵師・菱川師宜の記念館）

- ・ 温泉（地域内に 4 つの温泉組合が存在）
- など、17 件



和田浦海水浴場海岸



南房総・花海街道（2/2）

■活動目的及び活動内容

◆活動目的：市民とNPOとの連携による観光まちづくりと景観保全

房総半島の南端に位置している南房総地域には、「関東の富士見百景」「東京湾百選」「ちば眺望100景」などに選定された、全国的にも誇れる、豊富な地域資源が数多く存在する。一方地域内には、たてやま・コミュニティビジネス研究会（CB研究会、市内NPO法人の連携組織で「館山市観光プロモーション協議会」加盟団体）などに代表される多彩な市民NPOがあり、こうした豊かな地域資源を背景にして、創造性に溢れた、独自の活動を積極的に展開している。そこで今後は、それぞれの民間活力を企業・学校・行政などと有機的に結合しながら3市1町の広域連携を進めるとともに、観光と自然環境がともに支え合う仕組みづくりや新たな旅行形態（ニューツーリズム）の創出により、観光振興を図り、地域活性化につなげていくことを活動の大きな目的とする。

また、恵まれた景観（原風景）を次世代に伝えていくために、これまでの環境美化活動の拡充を図るとともに、街道周辺の看板設置などハード整備を推進していく。

◆活動内容

・南房総地域の広域連携

さまざまな観光情報を集約した総合的なデータベースを構築し、QRコードの活用、広域マップの作成、モデルコースの設定などによって、観光地を巡りやすい最新の情報を入手できる手法の検証。また、自動車旅行に対する情報提供システムの構築、エリア内の道の駅と連携しながら、地域資源を活用した誘客を促進。

・ニューツーリズムの創出と人材育成

房州寿し、花料理、クジラ料理、おらが井など地域の食材を活かした食文化をテーマにした、新たな周遊プランの提案。また、花嫁街道などのウォーキングやハイキングのコース（自然資源）を背景に、「健康」と「環境」テーマにした宿泊プランを創出。

さらに、こうした新しい旅行形態や自然体験活動に欠かせない、ガイドや語り部などの人材育成。

・地域ボランティアと企業の参加による環境美化活動

地域ボランティア活動の継続、充実。宿泊業者や企業の参画による街道と周辺の自然資源（海岸、河川、森、田畑）を保全する取り組み。

・ハード整備

統一ロゴの使用や分かり易く、優しいサインのあり方を検討、実践。建築物や企業のPR看板などの屋外広告物に対して、観光地に相応しい景観に必要な条例などの制度づくりを視野に入れ、活動を展開。市街地における電線の地中化にも取り組む。

■風景街道パートナーシップ

◆ 名 称：南房総・花海街道パートナーシップ

◆ 代表者：金丸謙一（館山市長）

◆ 事務局：館山市役所経済観光部商工観光課

◆ パートナーシップを構成する組織

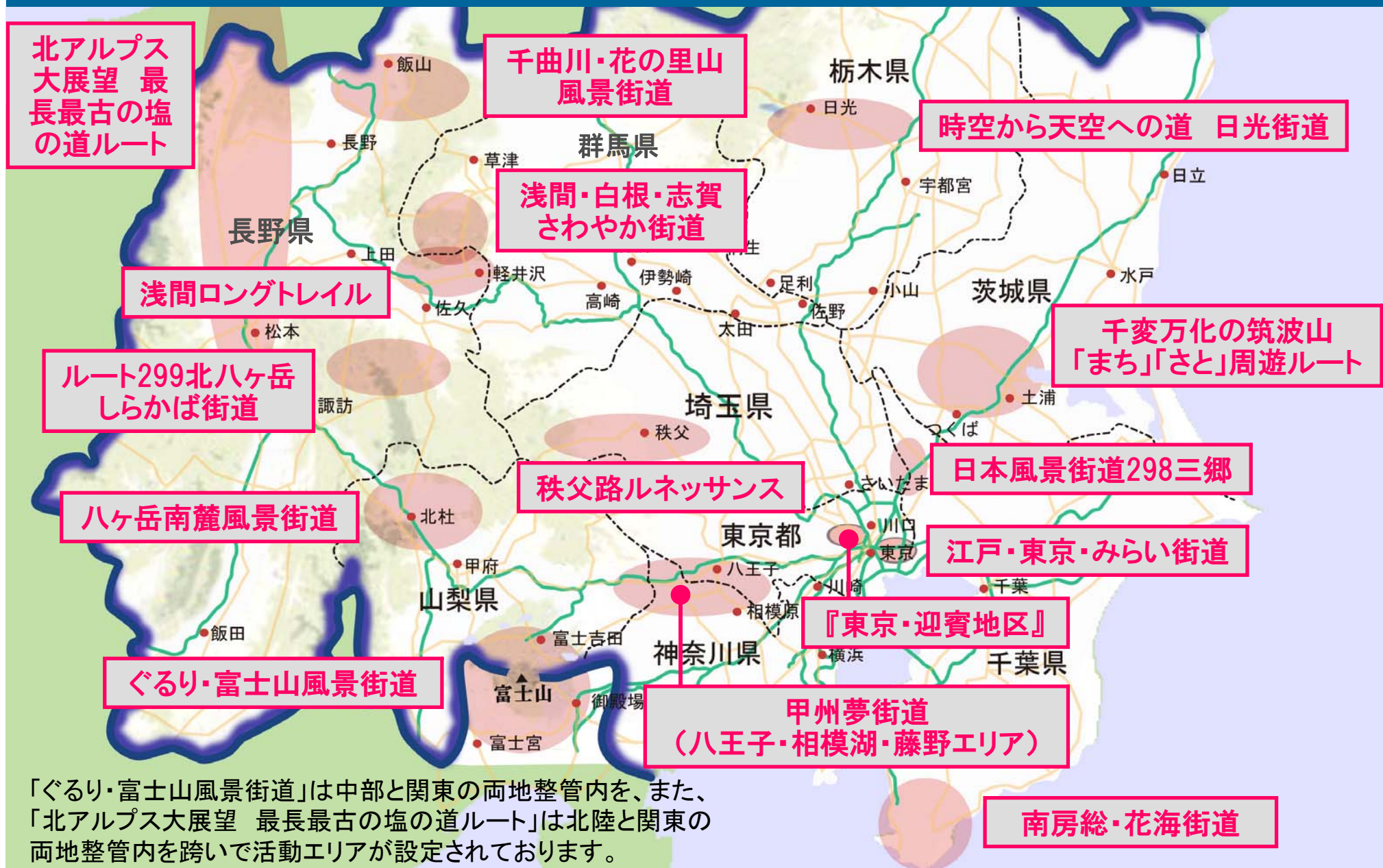
【道路管理者以外の組織及び個人】社団法人鴨川市観光協会、鴨川市天津小湊観光協会、鯛のまちボランティアガイド協会、鴨川市生活環境整備推進連絡協議会、南房総市観光プロモーション協議会、安房道の駅連絡会、南房総市防災協力会、館山市観光プロモーション協議会、フラワーロード推進協議会、鋸南町観光協会、館山市、鴨川市、南房総市、鋸南町

【道路管理者】国土交通省千葉国道事務所、千葉県

関東ブロックの概要図（第1回登録分）

別紙3

～関東地整管内13ルートと中部・北陸地整管内に跨る2ルート～



いよいよ始動！

日本風景街道
関東エリアクランクイン
フォーラム

いよいよ関東エリアの風景街道が始動しました。
「みちを仲立ちとした地域づくり活動」のはじまりです。

でも、関東エリアで連携する意義って何でしょう？
どんな考え方や活動で関東ならではのテイストが生まれるのでしょうか？
「連携を強めて多様性の確保と質の向上を図っていこう」という今、
登録ルートが一堂に会してこれからの方向性を探ります。

参加無料

要申込み

日時：平成 19 年 **10/30 火** 14:00 ▶ 17:00

会場：UDX ギャラリー（秋葉原 UDX 南ウイング 4F：JR 秋葉原駅徒歩 2 分）

詳しくは裏面をご覧ください ➡

●記念講演 14:30-15:30
「日本の伝統文化を活かしたまちづくり」



セーラ・マリ・カミングス

株式会社小布施堂代表取締役・株式会社
樹一市村酒造場代表取締役
ペンシルベニア州立大学卒業、長野オリンピックに憧れ来日。国際北斎会議の企画と運営、
老舗酒蔵樹一市村酒造場の活性化を通して、
小布施の町おこしの立役者に。また、小布施ッ
ションという文化サロンなどの文化活動を継
続。日経ウーマン誌の「ウーマン・オブ・ザ・イ
ヤー2002」大賞受賞。小泉内閣の観光立国推
進会議のワーキングメンバー、国土交通省国
土審議会専門委員等を歴任。

●関東風景街道認証式 14:00-14:30

●記念講演 14:30-15:30

〈休憩〉

●パネルディスカッション 15:40-17:00

「関東エリアの風景街道・その連携を考える」

家田 仁 東京大学大学院教授＝コーディネーター

セーラ・マリ・カミングス 株式会社小布施堂代表取締役
株式会社樹一市村酒造場代表取締役市川 均 「秩父路ルネッサンス」
秩父路魅力アッププロジェクトチーム 代表野本 幸 「北アルプス大展望・最長最古の塩の道ルート」
アルプス塩の道交流会議 事務局長

田端 直人 風景街道関東地方協議会会長

主催：風景街道関東地方協議会

（事務局） 〒330-9724 埼玉県さいたま市中央区新都心 2-1
合同庁舎 2 号館 19 階
国土交通省 関東地方整備局 道路部 道路計画第二課

TEL：048-600-1342
FAX：048-600-1385
mail：fukeikaido-jim@ktr.mlit.go.jp

クランクイン フォーラム

参加無料

要申込み

下記フォームに記入のうえ、
ファクシミリにてお申し込みください。

●締切り●平成 19 年 10 月 25 日

【定員 200 名に達し次第、早めに締切の場合がございます】

■パネリストの紹介



家田 仁

コーディネーター

東京大学大学院教授

1955 年東京生まれ。1978 年東京大学工学部土木工学科を卒業後、日本国有鉄道に入社。1984 年東京大学工学部助手、助教授を経て 1995 年より現職。工学博士。専門は交通計画。日本風景街道戦略会議委員。

セーラ・マリ・カミングス

株式会社小布施堂代表取締役

株式会社榊一市村酒造場代表取締役

(前掲)

野本 幸

「北アルプス大展望・最長最古の塩の道ルート」

アルプス塩の道交流会議 事務局長

NPO法人 女性みちみらい上越 理事長

市川 均

「秩父路ルネッサンス」

秩父路魅力アッププロジェクトチーム 代表

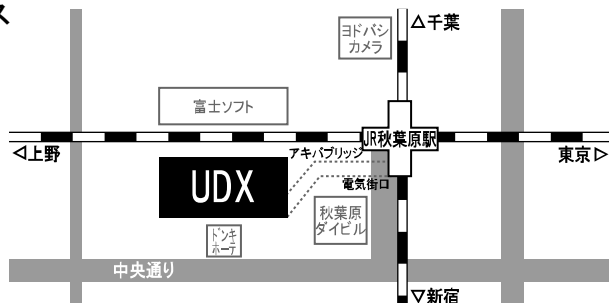
NPO法人 ちちぶまちづくり工房 代表理事

田端 直人

風景街道関東地方協議会会長

(社)埼玉県商工会議所連合会 専務理事

■会場へのアクセス



UDX ギャラリー：秋葉原 UDX 南ウイング 4F

東京都千代田区外神田 4-14-1

- JR 秋葉原駅 電気街口より徒歩2分
- つくばエクスプレス 秋葉原駅 A3 出口より徒歩3分
- 東京メトロ日比谷線 秋葉原駅2番出口より徒歩4分
- 東京メトロ銀座線 末広町駅1・3番出口より徒歩3分

■参加申込

風景街道関東地方協議会主催 クランクイン・フォーラム(10 月 30 日開催) 参加申込書

お名前		
ご職業・所属など		
ご連絡先	住所	
	電話	
	FAX	

風景街道関東地方協議会事務局 宛

FAX:048-600-1385

国土交通省関東地方整備局 道路部道路計画第二課
埼玉県さいたま市中央区新都心 2-1 合同庁舎 2 号館 19 階
TEL:048-600-1342 (担当: 佐藤・中澤・竹下)
E-mail: fukeikaido-jim@ktr.mlit.go.jp

目的

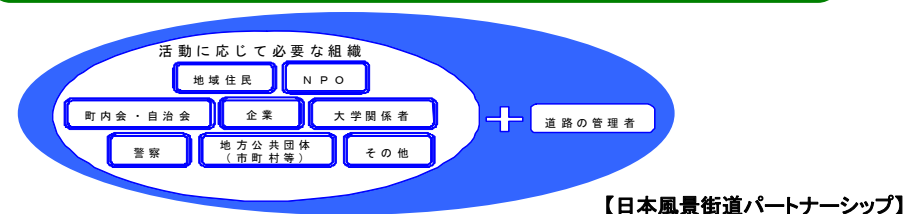
- 多様な主体による協働のもと、景観、自然、歴史、文化等の地域資源を活かした質の高い風景を形成
→もって、地域活性化、観光振興に寄与

運動方針

- 方針1：全国に運動を広げること
- 方針2：多様性を確保すること
- 方針3：さらなる質の向上を図ること
- 方針4：継続的な運動とすること

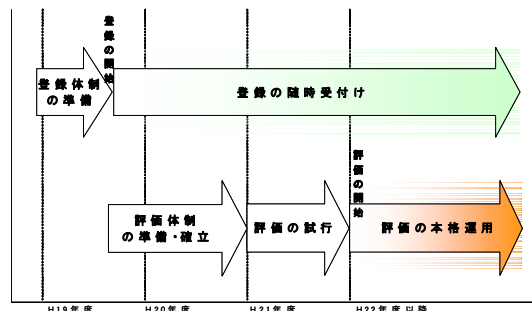
活動主体（日本風景街道パートナーシップ）

- 地域と行政が一体となった活動が必要
- 地域住民、NPO、地方自治体等、活動に応じて必要な組織と道路管理者で活動のための体制を構築



実施展開の考え方

- 登録の枠組みを先行的に構築
- 概ね3年後を目途に評価の枠組みを構築



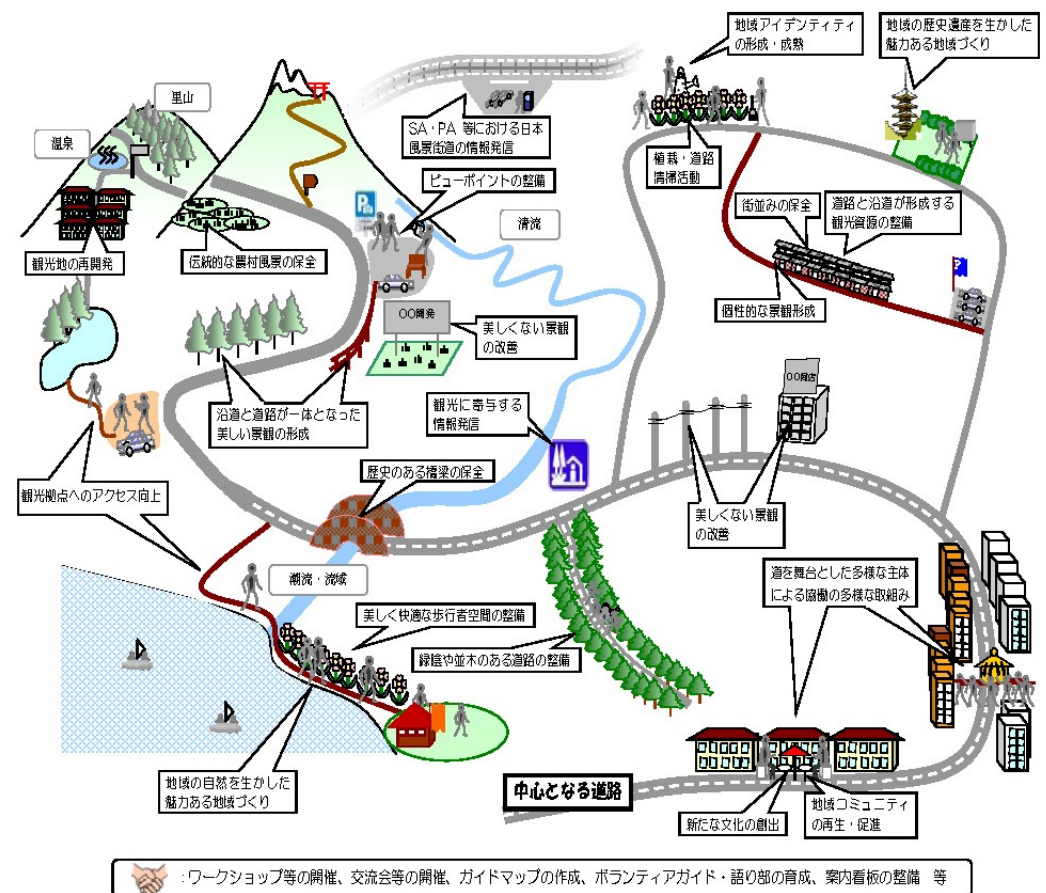
美しい国土景観の形成

多様な主体による協働

地域活性化への寄与

観光振興への寄与

日本風景街道の活動内容・活動の場



日本風景街道の概要（2／2）

基本的な枠組みの具体例

- 「日本風景街道パートナーシップ」が登録申請を行い、地方ブロック毎に設置する「風景街道地方協議会」が登録を実施
- 登録後、様々な活動を通じて熟度が上がり風景の質が向上したものについて、「日本風景街道パートナーシップ」が評価申請を行い、「第三者機関」が評価。重点的な広報等の支援を実施。

